



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 児玉化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4222 URL <http://kodama-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 健

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 齊木 均

TEL 03-3279-4900

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	16,936	12.9	102	△72.1	69	△76.6	△38	—
25年3月期第3四半期	15,006	17.2	366	207.7	295	881.3	181	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 186百万円 (△51.1%) 25年3月期第3四半期 382百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	△1.30	—
25年3月期第3四半期	6.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	19,706	2,426	9.4	61.86
25年3月期	18,319	2,250	9.5	57.85

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,848百万円 25年3月期 1,731百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	22,000	4.0	500	△0.7	420	△8.7	200	△1.4	6.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 普拉那(天津)複合製品有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	30,154,411 株	25年3月期	30,154,411 株
26年3月期3Q	266,940 株	25年3月期	227,471 株
26年3月期3Q	29,903,813 株	25年3月期3Q	29,981,590 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和等の各種政策により景況感は緩やかな改善傾向を示しつつありますが、新興国経済の減速や米国の財政問題等の影響により、依然として先行き不透明な環境が続いております。

当社グループにおきましても、国内に於いては景気の刺激策により自動車産業は好調に推移するとともに、復興需要に係る住宅着工件数も徐々に増加し回復傾向を示しております。又海外では、タイ経済の減速感が明確となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,936百万円(前年同四半期比12.9%増)と増収となり、利益面では、引き続き経営資源の集中化並びに徹底したコスト削減を行ってまいりましたが、原材料のコスト高等の影響が大きく、営業利益は102百万円(前年同四半期比72.1%減)、経常利益は69百万円(前年同四半期比76.6%減)、四半期純損失は38百万円(前年同四半期は四半期純利益181百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

従来、報告セグメントとして表示しておりました「産業機器事業」については、前連結会計期間にダイの販売及びリワーク事業の事業譲渡を行ったことにより量的な重要性が減少したため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて算定しております。

#### ① 自動車部品事業

当事業におきましては、国内では景気の刺激策により自動車産業が好調を維持し当社の売上高も順調に推移しました。タイの連結子会社では、為替換算差の影響で売上高は増収となりました。

この結果、売上高は9,738百万円(前年同四半期比14.4%増)、セグメント利益は448百万円(前年同四半期比32.4%増)となりました。

#### ② 住宅設備・冷機部品事業

住宅設備事業におきましては、新設住宅及び住宅改修需要は増加しており、今後も2014年度の消費税率引き上げ前の需要等が下支えとなり、本年の新築住宅着工見込数は昨年を上回る環境下にあります。一方、一方で原材料価格の上昇が転嫁出来ず、又新製品立上げ費用が発生した事により減益となりました。引き続きマーケットに対応した合理化を継続的に実施しております。

冷機部品事業では、特にタイの連結子会社におけるタイ洪水の被害を受けた顧客からの受注減少は未だ回復が遅れておりますが、為替換算差の影響で売上高は増収となりました。

この結果、売上高は5,972百万円(前年同四半期比8.1%増)、セグメント利益は300百万円(前年同四半期比31.9%減)となりました。

③ エンターテインメント事業

当事業におきましては、需要の回復からエンターテインメント関係等の売上高が増加いたしました  
が、原料価格の上昇もあり減益となりました。

この結果、売上高は897百万円(前年同四半期比80.9%増)、セグメント損失は111百万円(前年同四  
半期はセグメント損失35百万円)となりました。

④ その他

その他事業におきましては、「産業機器事業」の譲渡の影響により売上高が減少いたしました。

この結果、売上高は327百万円(前年同四半期比31.0%減)、セグメント損失は39百万円(前年同四  
半期はセグメント損失39百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は19,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,386百万円  
の増加となりました。

資産では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加等により1,127百万円増加し、固定資産が機械装置  
及び運搬具の増加等で259百万円増加しました。

負債では、流動負債が短期借入金の増加等により1,658百万円増加し、固定負債が長期借入金の減少  
等により447百万円減少しました。

純資産では、為替換算調整勘定の増加等により175百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において平成25年11月12日公表の通期の業績予想に変更はございません。

なお、通期の業績推移に関しては今後の業績推移を検証の上、適時開示する予定であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

連結子会社であった普拉那(天津)複合製品有限公司は、当社が保有する全株式を譲渡したことにより、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社は、商品、原材料及び貯蔵品を最終仕入原価法による原価法としておりましたが、当連結会計年度より総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更は、当社のたな卸資産管理強化の一環として、たな卸資産評価方法の統一を図り、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことを目的としております。

当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、建物を除き減価償却方法として定率法を採用しておりましたが、当連結会計年度より定額法に変更しております。

この変更は、定額法を採用している海外子会社の重要性が増し、国内外のコスト管理レベルを統一する必要性を背景に、固定資産を長期安定的に使用していく見通しであるという点を考慮した結果、減価償却費を均等配分することが適切であると判断したためです。

なお、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ29,632千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	742,040	916,282
受取手形及び売掛金	5,893,030	6,351,261
商品及び製品	533,446	648,859
仕掛品	265,183	262,201
原材料及び貯蔵品	1,071,038	1,367,525
その他	608,390	697,623
貸倒引当金	△26,142	△29,691
流動資産合計	9,086,987	10,214,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,052,658	5,213,621
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,403,597	△2,547,678
建物及び構築物(純額)	2,649,061	2,665,943
機械装置及び運搬具	6,611,296	6,717,390
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,845,488	△4,863,445
機械装置及び運搬具(純額)	1,765,808	1,853,944
土地	2,866,536	2,936,734
その他	2,334,451	2,270,726
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,392,523	△1,295,208
その他(純額)	941,928	975,517
有形固定資産合計	8,223,334	8,432,140
無形固定資産		
その他	192,108	214,105
無形固定資産合計	192,108	214,105
投資その他の資産		
その他	1,009,626	1,034,758
貸倒引当金	△192,409	△188,517
投資その他の資産合計	817,217	846,240
固定資産合計	9,232,660	9,492,486
資産合計	18,319,647	19,706,550

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,446,284	4,646,911
短期借入金	4,654,505	5,994,758
未払法人税等	65,492	30,166
賞与引当金	233	150,781
その他	1,222,019	1,224,669
流動負債合計	10,388,534	12,047,287
固定負債		
長期借入金	5,031,904	4,700,565
退職給付引当金	264,127	228,249
役員退職慰労引当金	40,550	44,640
環境対策引当金	5,649	5,649
関係会社整理損失引当金	55,000	—
その他	283,095	253,951
固定負債合計	5,680,326	5,233,055
負債合計	16,068,860	17,280,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,021,032	3,021,032
資本剰余金	1,017,451	1,017,451
利益剰余金	△2,097,982	△2,136,708
自己株式	△21,259	△24,994
株主資本合計	1,919,242	1,876,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,884	30,275
為替換算調整勘定	△176,090	△58,087
その他の包括利益累計額合計	△187,974	△27,812
少数株主持分	519,519	577,238
純資産合計	2,250,786	2,426,207
負債純資産合計	18,319,647	19,706,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	15,006,992	16,936,980
売上原価	13,119,803	15,063,346
売上総利益	1,887,189	1,873,633
販売費及び一般管理費	1,520,821	1,771,243
営業利益	366,367	102,389
営業外収益		
受取利息	5,302	7,110
受取配当金	4,654	3,529
為替差益	19,822	53,258
助成金収入	45,735	43,898
貸倒引当金戻入額	28,989	6,165
その他	33,554	89,972
営業外収益合計	138,059	203,935
営業外費用		
支払利息	183,630	199,830
その他	25,178	37,418
営業外費用合計	208,809	237,248
経常利益	295,618	69,076
特別利益		
固定資産売却益	2,465	—
事業譲渡益	81,784	—
関係会社整理損失引当金戻入額	—	19,099
特別利益合計	84,250	19,099
特別損失		
固定資産除却損	8,074	—
特別損失合計	8,074	—
税金等調整前四半期純利益	371,793	88,175
法人税、住民税及び事業税	84,083	56,884
法人税等調整額	25,231	18,954
法人税等合計	109,314	75,839
少数株主損益調整前四半期純利益	262,478	12,336
少数株主利益	80,843	51,062
四半期純利益又は四半期純損失(△)	181,635	△38,725

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	262,478	12,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,194	42,160
繰延ヘッジ損益	8,750	—
為替換算調整勘定	31,311	132,226
持分変動差額	62,315	—
その他の包括利益合計	119,571	174,386
四半期包括利益	382,050	186,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,508	121,437
少数株主に係る四半期包括利益	81,541	65,285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	自動車部品事業	住宅設備・冷機部品事業	エンターテイメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,512,744	5,522,818	496,310	14,531,872	475,120	15,006,992
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,017	722,202	863	749,083	47	749,131
計	8,538,761	6,245,021	497,173	15,280,956	475,167	15,756,124
セグメント利益又は損失(△)	338,475	441,146	△35,103	744,518	△39,781	704,736

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	744,518
「その他」の区分の利益	△39,781
セグメント間取引消去	△18,545
全社費用(注)	△316,080
未実現損益調整額	39,769
その他の調整額	△38,085
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	371,793

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	自動車部品事業	住宅設備・冷機部品事業	エンターテイメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,738,661	5,972,816	897,903	16,609,381	327,598	16,936,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,165	181,959	—	215,124	—	215,124
計	9,771,827	6,154,776	897,903	16,824,506	327,598	17,152,105
セグメント利益又は損失(△)	448,065	300,267	△111,721	636,611	△39,329	597,282

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	636,611
「その他」の区分の利益	△39,329
セグメント間取引消去	△62,898
全社費用(注)	△458,724
未実現損益調整額	12,704
その他の調整額	△188
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	88,175

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして表示しておりました「産業機器事業」については、前連結会計年度にダイの販売及びリワーク事業の事業譲渡を行ったことにより、量的な重要性が減少したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(有形固定資産の減価償却費の変更)

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社は、建物を除き減価償却方法として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、第3四半期連結累計期間のセグメント利益がそれぞれ、「自動車部品事業」で19,969千円、「住宅設備・冷機部品事業」で6,606千円増加し、セグメント損失が、「エンターテイメント事業」で2,823千円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。